

令和7年度

小規模崩壊地復旧事業

三田地区

復旧工事 仕 様 書

事業主体 広島県庄原市

施行箇所 庄原市西城町大屋（山脇宅裏）

特記仕様書

第 1 章 総 則 第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、**三田地区復旧工事** に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和6年8月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」））
 - ※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第 2 節 適用除外

- 本工事では、土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。
- ・ 1-1-1-27, 1-1-2-20 週休二日の対応
 - ・ 1-1-2-14 施工管理 1. 標示板の設置
 - ・ 1-1-3-7 契約後V E 工事
 - ・ 1-1-3-9 県産木材の活用
 - ・ 3-1-1-7 工事完成図書の納品 6. 地質調査の電子成果品等

第 3 節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等		特記仕様書第1章総則で読みかえる用語等	
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

第 4 節 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負代金額が 4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要し

ないこととされた場合であって、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を申請することができる。

ただし、令和7年4月3日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあつては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。

- (1) 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること
 - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め3件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること
 - (3) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること
 - (4) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、密接に関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められたものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。
- (1) 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
 - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること
 - (3) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、兼務の承認を取消すものとする。
- (1) 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (2) 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき
 - (3) その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

第 5 節

現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置要件の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。

一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。

 - (1) 下請契約金額の総額が 5,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
 - (2) 請負代金額 4,500万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。
 - (3) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満）は、この工事を含めて3件までとする。
 - (4) 請負金額が 4,500万円以上 1億円未満の工事で建設業法施行令第27条第2項が適用される工事にあつては、主任技術者が兼務できる工事件数は、この工事を含めて2件以内とする。
- 2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の誓約書の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。

「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。

 - (1) 請負代金額が 4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合

- 配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書。
- (2) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合

配置する主任技術者又は監理技術者について、次の〔1〕又は〔2〕に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在3件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書。

- 〔1〕 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上 9,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者
- 〔2〕 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

第 6 節 情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第 7 節 工事関係書類の事前協議（情報共有システム利用工事に限る。）

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月 広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 8 節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者も

これを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

1.3 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 材料

第1節 寒中コンクリート

当該工事における次の対象構造物は寒中コンクリートとして施工し、次のとおり取り扱うこと。

1 対象構造物

令和7年12月1日から令和8年2月29日までの期間に施工するコンクリート構造物。
ただし、ダムコンクリート（砂防ダムを除く）、トンネル坑内、場所打ちコンクリート杭、均しコンクリートは除く。

2 養生方法

養生方法は給熱養生を標準とし、詳細については監督職員と協議すること。

3 打設数量の確認

対象構造物のコンクリート打設数量については、施工後、打設図等の数量確認資料を作成し監督職員へ提出すること。

第3章 施工条件

第1節 建設副産物

1 建設発生土〔搬出〕（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 **三宅建設㈱ 大迫山土砂埋立地** **庄原市西城町中迫字大迫山64**

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第4章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
- 3 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

工 事 概 要

工 事 名	三田地区 復旧工事							
施 行 箇 所	庄原市西城町大屋 (山脇宅裏)							
	費目工種	工 種	種 別 ・ 細 別	数 量		単 位	摘 要	
				当 初	変 更			
工 事 概 要	山腹工 治山土工	掘削工	掘削 (土砂)	50.0		m3		
			作業土工	床掘	13.0		m3	
		残土処理工	埋戻	10.0		m3		
			積込	67.0		m3		
			運搬	67.0		m3		
			残土積込	67.0		m3		
			残土運搬	67.0		m3		
			処分費	67.0		m3		
		法切工	法切工	法切	14.0		m3	
			法面工	伏工	植生マット	39.5		m2
	土留工	土留(鍊積ブロック)		コンクリートブロック積	38.6		m2	
			小口止工	1.0		箇所		
			すりつけ工	4.8		m2		
	水路工 銘板工 仮設工	山腹集水路・排水路工	山腹U型側溝	16.1		m		
			銘板工	1.0		枚		
防護施設工			仮設防護柵	18.0		m		

令和 7 年度

三田地区復旧工事

庄原市西城町大屋（山脇宅裏）

地内

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

工 事 費 計

積算情報

工事名	三田地区復旧工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	林道 令和06年度
工種区分	治山・地すべり防止工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 7年 7月 1日付 林道	単価地区	51:庄原市(旧総領町,旧東城町,旧高野町を除く)
機損適用年月日	令和 6年度 公共・林道	歩掛適用年月日	令和 6年10月 治山林道

補正情報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 補正無し 現場管理費 …………… 補正無し
現場環境改善費	計上しない
冬期補正	冬期補正無 (0.00 %)
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

諸経費設定情報

名 称	値
【 週休2日補正 】	補正なし
【 工区名称：治山・地すべり防止工事02】	
[共通設定]	
施工地域	補正無し
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合
工事価格端数調整	行わない
現場環境改善費計上区分	計上しない
諸経費を前回金額に固定	前回金額に固定しない
[共通仮設費]	
率指定	しない
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
[現場環境改善費]	
[現場管理費]	
率指定	しない
施工時期、工事期間による補正	行わない
緊急工事補正	緊急工事補正無
補正率合計値の上限 (%)	0
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
[一般管理費等]	
率指定	しない
乗算補正(*n)	0
加算補正(+n) (%)	0
契約保証に係る額の対象額(円)	0
目標額(円)	0

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
治山・地すべり防止工事02	1	式				
山腹工	1	式				処:
治山土工	1	式				処:
掘削工	1	式				
掘削 小規模 土砂 標準以外	50	m3			P 1号	
作業土工	1	式				
床掘り 土砂 小規模	13	m3			P 2号	
埋戻し 現場制約あり 土砂 締固め無し	10	m3			P 3号	
残土処理工	1	式				処:
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	67	m3			P 4号	
土砂等運搬 小規模 八ツ杓山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂 0.3km以下 DID区間無 々々損耗費(良好)含む	67	m3			P 5号	
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	67	m3			P 6号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ダンプトラック運搬 4t積級 バックホウ山積0.28m3(平0.20m3) 運搬距離 2.5km	67	m3			施 7 号	
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 三宅建設(株)大迫山土砂埋立地 受入地 庄原市西城町	67	m3				処:
法切工	1	式				
法切工	1	式				
掘削 小規模 土砂 標準以外	14	m3			P 1 号	
法面工	1	式				
伏工	1	式				
植生マット工 施工規模250m2未満 時間制約無	39.5	m2			施 8 号	
土留工	1	式				
ブロック積工	1	式				
現場打基礎コンクリート 基礎碎石無 18-8-40高炉60%小型 一般・特殊養生(練炭)	2	m3			P 9 号	
コンクリートブロック積工 JIS滑面 150kg/個未満 昼間 時間制約無 練積 裏込コンクリート無	38.6	m2			施 10 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック 再生砕石 RC-40	8.2	m3			P 11号	
天端コンクリート	1	式				
現場打天端コンクリート 18-8-40高炉60%小型 一般養生	0.3	m3			P 12号	
小口止コンクリート	1	式				
現場打小口止コンクリート 18-8-40高炉60%小型 一般養生	1	m3			P 13号	
すりつけ工	1	式				
石積(張) 積工 練石 雑割石	4.8	m2			P 14号	
胴込・裏込コンクリート 積工 18-8-40高炉60%小型	0.4	m3			P 15号	
水路工	1	式				
山腹集水路・排水路工	1	式				
1号水路工 KF-150	16.1	m			単 16号	
銘板工	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
銘板工	1	式				
林道名板 (A 型 ・ アルミ軽合金) 200 × 150 × 10mm	1	枚				
仮設工	1	式				
防護施設工	1	式				
仮設防護柵工 H=1.5m L=18.0m	1	式			施 17 号	
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費 (率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
工事原価	1	式				

三田地区復旧工事

【 第 1 号 施工パッケージ 】							
掘削 小規模 土砂 標準以外							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.80				
小型バックホウ(クレー) [標準・排対:2次] 標準バックホウ 山積0.13m3[平積0.10m3]			20.80				
【労務】			71.28				
運転手(特殊)			71.28				
【材料】			7.92				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			7.92				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J6] = 8 施工数量 標準以外				[J2] = 5 施工方法 上記以外(小規模)			

三田地区復旧工事

【 第 2 号 施工パッケージ 】							
床掘り 土砂 小規模							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			19.87				
バックホ(クロー型)[後方超小旋回型・排対:2次] 標準バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]			19.87				
【労務】			72.99				
運転手(特殊)			39.96				
普通作業員			33.03				
【材料】			7.14				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			7.14				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [SF] = 2 普通作業員(山林砂防工) 普通作業員				[J2] = 5 施工方法 上記以外(小規模)			

三田地区復旧工事

【 第 3 号 施工パッケージ 】							
埋戻し 現場制約あり (土砂 締固め無し ,)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			100.00				
普通作業員			100.00				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 6 施工方法 現場制約あり			[J2] = 1 土質 土砂				
[J3] = 2 締固めの有無 締固め無し			[SF] = 2 普通作業員(山林砂防工) 普通作業員				

三田地区復旧工事

【 第 4 号 施工パッケージ 】							
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.80				
小型バックホウ(クレー) [標準・排対:2次] 標準バックホウ 山積0.13m3 [平積0.10m3]			20.80				
【労務】			71.28				
運転手(特殊)			71.28				
【材料】			7.92				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			7.92				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂				[J2] = 5 作業内容 小規模(標準以外)			

三田地区復旧工事

【 第 5 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂 (0.3km以下 DID区間無 , 夕俵損耗費(良好)含む)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			18.57				
ダンプトラック[オート・ティール] 2t積級			18.57				
【労務】			72.35				
運転手(一般)			72.35				
【材料】			9.08				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			9.08				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 土砂等発生現場 小規模 [J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む) [JF] = 1 運搬距離 0.3km以下				[J2] = 6 積込機種・規格 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) [J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無			

三田地区復旧工事

【 第 6 号 施工パッケージ 】							
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			27.26				
バックホ(クロー型)[標準型・排対型:2次基準] 標準バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]			27.26				
【労務】			61.70				
運転手(特殊)			61.70				
【材料】			11.04				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			11.04				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂				[J2] = 4 作業内容 小規模(標準)			

三田地区復旧工事

【 第 7 号 施工単価表 】						
ダンプトラック運搬 4t積級 ハック山積0.28m3(平0.20m3) (運搬距離 2.5km ,)						4.1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ダンプトラック運搬 4t積級 損料補正なし 夕作損耗費:良好		時間				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 ダンプトラック規格 4t積級		[B] = 2.500 km	運搬距離(L)			
[C] = 4.800 運搬状況による係数()		[D] = 1	土質区分 粘性土・砂・砂質土・礫質土			
[E] = 1 積込方法 ハック山積0.28m3(平0.20m3)		[T] = 1	夕作損耗費区分 夕作損耗費:良好			
[GH] = 1 岩石補正 損料補正なし						

三田地区復旧工事

【 第 8 号 施工単価表 】						
植生マット工 施工規模250m2未満 (時間制約無 ,)						1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 植生工(人力施工) 植生マット工 肥料袋付 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 工種 植生マット工		[B] = 4	施工規模 施工規模250m2未満			
[C] = 1 時間制約 時間制約無						

三田地区復旧工事

【 第 9 号 施工パッケージ 】							
現場打基礎コンクリート 基礎碎石無 (18-8-40高炉60%小型 , 一般・特殊養生(練炭))							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			1.83				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			1.83				
【労務】			67.86				
型わく工			20.52				
普通作業員			16.69				
土木一般世話役			10.55				
特殊作業員			9.73				
その他(労務)							
【材料】			30.31				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			29.10				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			1.02				
その他(材料)							

三田地区復旧工事

【 第 10 号 施工単価表 】						
コンクリートブロック積工 JIS滑面 150kg/個未満 (昼間 時間制約無 ,練積 裏込コンクリート無)						1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_ブロック積工【手間のみ】						
時間的制約なし コンクリートブロック積工	1	m2				
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350, 8.5個/m2 参考質量41.2kg以上	1	m2				
生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉 小型車割増あり	0.246	m3			施 18 号	
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件]						
[G] = 1 コンクリート積ブロックの規格 JIS滑面 150kg/個未満			[B] = 3	時間的制約の有無 時間制約無		
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 1	練積・空積区分 練積		
[E] = 2 裏込コンクリート施工区分 裏込コンクリート無			[F] = 0.220	m3 胴込・裏込コンクリート使用量		
[N1] = 18 生コンクリート規格 18-8-40 W/C60%			[N2] = 2	セメント種別 高炉B種		
[N3] = 2 生コ小型車割増 小型車割増あり			[I] = 0.000	m3 胴込砕石使用量		

三田地区復旧工事

【 第 11 号 施工パッケージ 】							
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック (再生砕石 RC-40 ,)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			9.68				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			9.68				
【労務】			66.52				
普通作業員			34.64				
特殊作業員			19.32				
運転手(特殊)			12.03				
その他(労務)							
【材料】			23.80				
再生クラッシャラン 40~0mm			19.63				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			4.17				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 ブロックの種類 間知・平・連節・緑化ブロック				[J2] = 1 胴込・裏込材規格 再生砕石 RC-40			

三田地区復旧工事

【 第 12 号 施工パッケージ 】							
現場打天端コンクリート							1 m3 当り
(18-8-40高炉60%小型 ,一般養生)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			2.63				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			2.63				
【労務】			64.40				
型わく工			21.70				
普通作業員			15.37				
土木一般世話役			10.81				
特殊作業員			7.44				
その他(労務)							
【材料】			32.97				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			31.42				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			1.55				
【端数調整】							

三田地区復旧工事

【 第 13 号 施工パッケージ 】							
現場打小口止コンクリート							
(18-8-40高炉60%小型 ,一般養生)							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			1.98				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			1.98				
【労務】			68.57				
普通作業員			22.09				
型わく工			21.22				
土木一般世話役			10.63				
特殊作業員			5.94				
その他(労務)							
【材料】			29.45				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			28.42				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			1.03				
【端数調整】							

三田地区復旧工事

【 第 14 号 施工パッケージ 】							
石積(張) 積工 練石 雑割石							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			6.34				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排対型1,2,3次 低騒音			6.34				
【労務】			90.69				
普通作業員			48.18				
運転手(特殊)			22.74				
石工			15.46				
[参考値] 土木一般世話役			4.31				
【材料】			2.97				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			2.97				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 積張の区分 積工 [J3] = 2 石の種類 雑割石			[J2] = 1 構造区分 練石				

三田地区復旧工事

【 第 15 号 施工パッケージ 】							
胴込・裏込コンクリート 積工 (18-8-40高炉60%小型 ,)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			1.99				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排対型1,2,3次 低騒音			1.99				
【労務】			29.96				
普通作業員			11.58				
特殊作業員			10.35				
運転手(特殊)			7.16				
その他(労務)							
【材料】			68.05				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			67.12				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			0.93				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 積張の区分 積工							
			[N1] = 7	胴込・裏込コンクリート規格	18-8-40(高炉)W/C60%		

三田地区復旧工事

【 第 16 号 単価表 】

1号水路工 KF-150

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け L=2000mm 1000kg/個以下 昼間 時間制約無 基礎砕石施工無	10	m			施 19 号	
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.06	m3			P 20 号	
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.5	m2			P 21 号	
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.02	m3			P 20 号	
計						
単位当たり						

三田地区復旧工事

【 第 17 号 施工単価表 】

仮設防護柵工 H=1.5m L=18.0m

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
丸パイプ 48.6mm , L=1.5m	13	本				
丸パイプ 48.6mm , L=3.0m	18	本				
丸パイプ 48.6mm , L=1.0m	13	本				
自在クランプ 48.6用	52	個				
金網 菱形・亜鉛引 , 4mm × 50mm目	28.8	m2				
シート 防火養生シート , 幅1.8m × 長さ5.4m	30	m2				
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
普通作業員		人				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						

三田地区復旧工事

【 第 18 号 施工単価表 】						
生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉 (小型車割増あり ,)						1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉	1	m3				
レディーミクストコンクリート 小型車割増	1	m3				
計						
単位当たり						
[条件] [N1] = 18 生コンクリート規格 18-8-40 W/C60% [N3] = 2 生コン小型車割増 小型車割増あり			[N2] = 2 セメント種別 高炉B種			

三田地区復旧工事

【 第 19 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け L=2000mm 1000kg/個以下 (昼間 時間制約無 , 基礎碎石施工無)						10 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
用排水角フリューム (K F) 150 L = 2.0m 51kg	5	本				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け		[B] = 1	L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無		[D] = 50	U型側溝種類 側溝 各種			
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下		[F] = 3	時間的制約の有無 時間制約無			
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無		[H] = 2	基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工無			
[I] = 7 基礎碎石の種類 碎石計上無		[J] = 0.000	m3 基礎碎石設計数量			

三田地区復旧工事

【 第 20 号 施工パッケージ 】							
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 (18-8-40高炉60% ,一般養生)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			36.88				
普通作業員			21.70				
特殊作業員			6.72				
土木一般世話役			5.98				
その他(労務)							
【材料】			63.12				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%) ,高炉			63.12				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設				
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2 養生工の種類 一般養生				
[J7] = 1 現場内小運搬の有無 有り			[N3] = 1 生の小型車割増 小型車割増なし				
[SF] = 2 普通作業員(山林砂防工) 普通作業員							

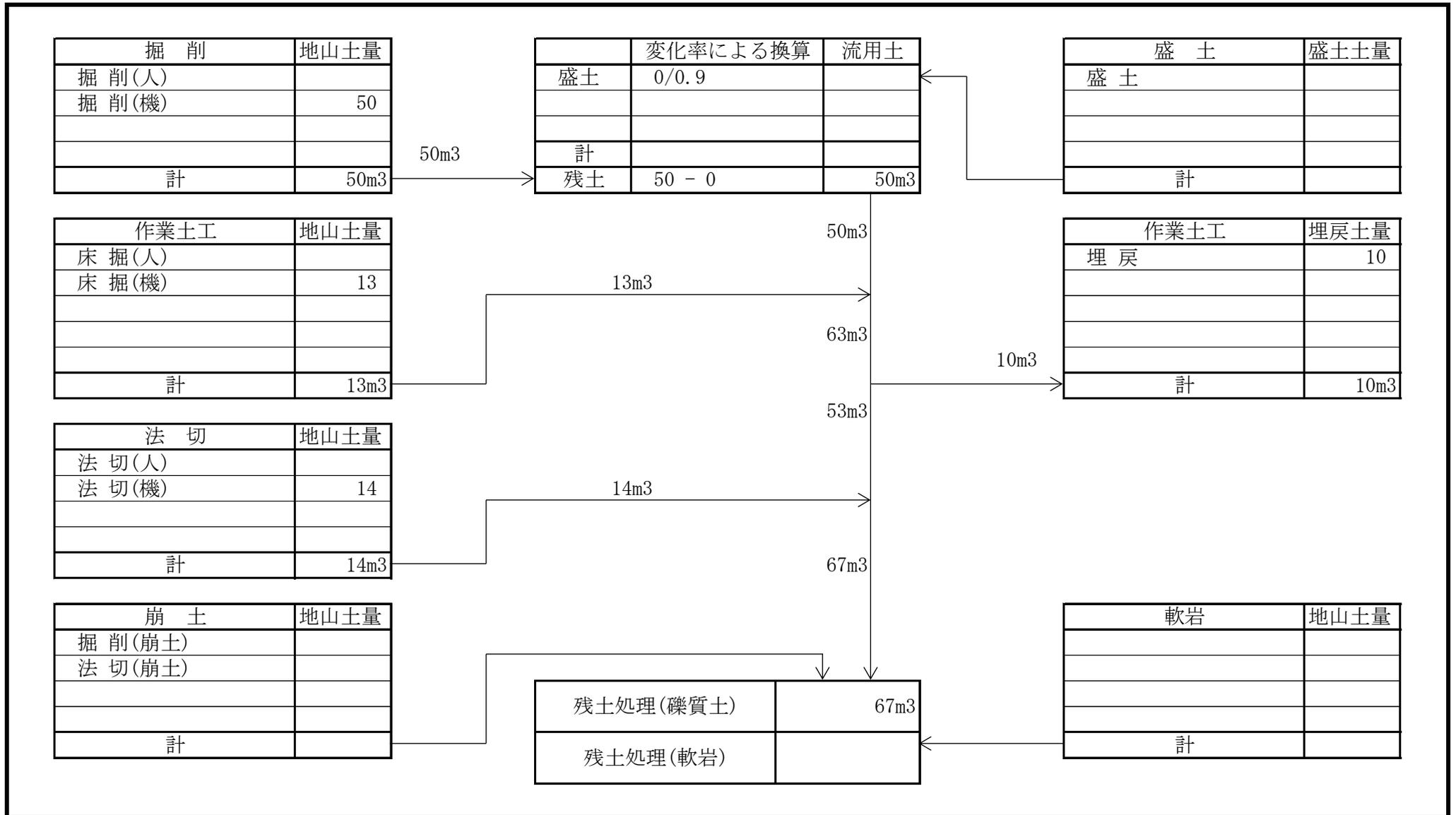
三田地区復旧工事

【 第 21 号 施工パッケージ 】							
型枠 一般型枠 均しコンクリート							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			100.00				
型わく工			58.35				
普通作業員			20.27				
土木一般世話役			6.13				
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 5 構造物の種類 均しコンクリート				
[SF] = 2 普通作業員(山林砂防工) 普通作業員							

数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4			数量	単位	備 考
山腹工	治山土工							
		掘削工						
			掘削(土砂)	機械	礫質土	50	m3	バックホウ0.13m3掘削積込(地山)
		作業土工						
			床掘	機械	礫質土	13	m3	バックホウ0.13m3掘削積込(地山)
			埋戻	人力	土砂	10	m3	締固め無し
		残土処理工						土量配分表より
			積込	礫質土	法切(人力)	67	m3	バックホウ0.13m3積込(ルーズ)
			運搬	礫質土		67	m3	小型不整地運搬車0.5t積L=60m
			残土積込	礫質土		67	m3	バックホウ0.28m3積込(ルーズ)
			残土運搬	礫質土		67	m3	ダンプトラック4t 運搬距離 L=16.5km
			処分費	礫質土		67	m3	三宅建設株式会社大迫山土砂埋立地
	法切工							
		法切工						
			法切	機械	礫質土	14	m3	バックホウ0.13m3掘削積込(地山)
	法面工							
		伏工						
			植生マット		肥料袋付	39.5	m2	
	土留工							
		土留(練積ブロック)						

土 量 配 分 表



掘削工 数量計算表

測点名	距離 (m)	掘削 人力・礫質土				掘削 機械・礫質土				掘削 機械・崩土			
		修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積
		(m)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m)	(m ²)	(m ²)	(m ³)
No. 0	0.0												
						0.9	2.6	2.60	2.3				
							2.6						
No. 1	4.5					3.6	2.2	2.40	8.6				
No. 2	6.5						2.9	2.55	16.6				
No. 3	4.5						5.5	4.20	18.9				
							5.0						
						1.5	0.0	2.50	3.8				
合計	15.5								50.2	0.00 /1.20=			0.0
設計数量									50				0

庄原市 西城町 大屋 三田地区

作業土工 数量計算表

測点名	距離 (m)	床掘 人力・礫質土				床掘 機械・礫質土				埋戻			
		修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積
		(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)
No. 0	0.0												
						0.9	1.0	1.00	0.9	0.9	0.3	0.30	0.3
							1.0				0.9		
No. 1	4.5					3.6	0.8	0.90	3.2	3.6	0.6	0.75	2.7
No. 2	6.5						0.8	0.80	5.2		0.6	0.60	3.9
No. 3	4.5						0.7	0.75	3.4		0.5	0.55	2.5
							0.4				0.3		
						1.5	0.0	0.20	0.3	1.5	0.0	0.15	0.2
合計	15.5								13.0				9.6
設計数量									13				10

法切・法面工 数量計算表

測点名	距離 (m)	法切 人力・礫質土				法切 機械・礫質土				伏工 植生マット			
		修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積	修正距離	法長	平均	面積
		(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m)	(m)	(m2)
							0.0				0.0		
No. 0	0.0					1.0	0.6	0.30	0.3	1.0	1.6	0.80	0.8
No. 1	4.5						0.2	0.40	1.8		0.9	1.25	5.6
No. 2	6.5						0.9	0.55	3.6		3.9	2.40	15.6
No. 3	4.5						2.0	1.45	6.5		2.9	3.40	15.3
						1.5	0.0	1.00	1.5	1.5	0.0	1.45	2.2
合計	15.5								13.7				39.5
設計数量									14				39.5

庄原市 西城町 大屋 三田地区

練積ブロック工 数量計算表 1

天端厚 0.37 表勾配1: 0.30 斜率 1.044
 裏勾配1: 0.30

測点名	距離 (m)	高さ (m)	練積ブロック			裏込コンクリート			裏込砕石			天端コンクリート		
			法長	平均	面積	断面	平均	体積	高さ	平均	体積	断面	平均	体積
			(m)	(m)	(m2)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m)	(m3)	(m2)	(m2)	(m3)
No. 0	0.0													
		2.60	2.40						1.70			0.02		
No. 1	4.2	2.60	2.40	2.40	10.08				1.68	1.69	2.13	0.02	0.02	0.08
No. 2	6.5	2.60	2.40	2.40	15.60				1.64	1.66	3.24	0.02	0.02	0.13
No. 3	4.5	3.50	3.34	2.87	12.92				2.59	2.12	2.86	0.02	0.02	0.09
合計	15.2				38.60			0.00			8.23			0.30
設計数量					38.6			0.0			8.2			0.3

庄原市 西城町 大屋 三田地区

練積ブロック工 数量計算表 2

天端厚 0.37

表勾配1: 0.30

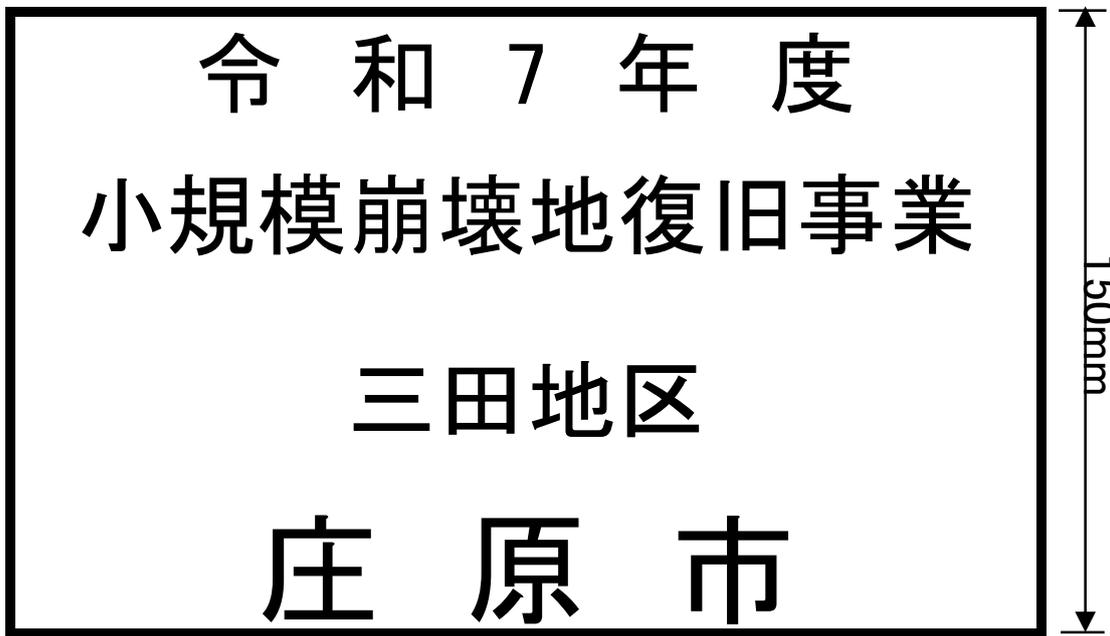
斜率 1.044

裏勾配1: 0.30

測点名	距離 (m)	高さ (m)	基礎コンクリート			基礎型枠			目地材					
			断面	平均	体積	高さ	平均	面積			面積	断面	平均	面積
			(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m)	(m2)			(m2)	(m)	(m)	(m2)
No. 0	0.0													
		2.60	0.13			0.50			0.99					
No. 1	4.2	2.60	0.13	0.13	0.55	0.50	0.50	2.10						
No. 2	6.5	2.60	0.13	0.13	0.85	0.50	0.50	3.25	0.99		2.0			
No. 3	4.5	3.50	0.13	0.13	0.59	0.50	0.50	2.25						
合計	15.2				1.99			7.60			2.0			0.00
設計数量					2.0			7.6			2.0			0.0

名板仕様

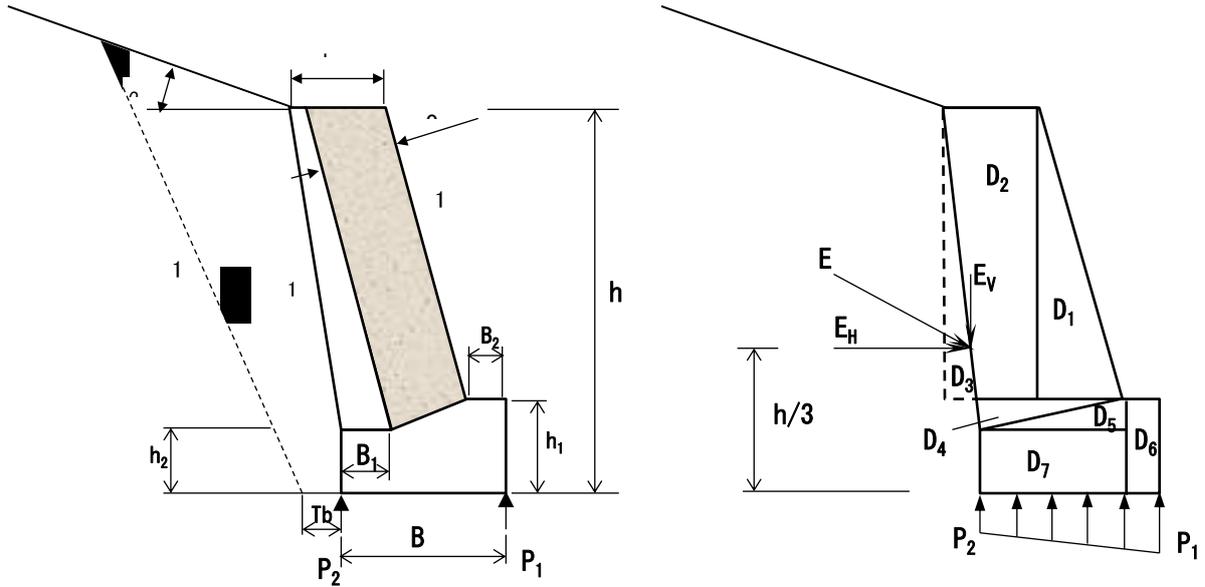
200mm



【規格・仕様】 アルミ軽合金 150×200×10mm
地色黒色焼付 縁および文字 白銀浮出し仕上げ

MW-B 地山タイプ

1 荷重区分図



2 各部寸法

壁高	基礎コン 寸法	基礎コン 寸法	基礎コン 寸法	天端厚	表のり	裏のり	掘削勾配	余掘幅
h	h ₁	h ₂	B ₂	b	n	m	Ts	Tb
3.5	0.3	0.2	0.15	0.37	0.3	-0.30	0.3	0.25

3 設計条件

壁体単位 体積重量	背面土 単位重量	地表面 傾斜角	背面土 内部摩擦角	壁面傾斜	壁面 摩擦角	基礎地盤 摩擦係数	許容 地耐力	転倒 安全率	滑動 安全率
ω	s	β	ϕ	α	δ	f	Qa	Ta	Fa
22.5	18	10	35	-16.699	23.333	0.6	400	1.5	1.5

4 土圧

試行クサビ法によって計算する。繰り返し計算のため数式は省略。

すべり土塊重量	すべり面角	土圧	土圧係数	
S ₁	S ₂	θ	E	c
4.601	13.372	51.22	10.809	-

$$\begin{aligned} \text{土圧の鉛直分力}(E_v) &= E \times \sin(\delta + \alpha) \\ &= 10.809 \times \sin(23.333 - 16.699) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{土圧の水平分力}(E_H) &= E \times \cos(\delta + \alpha) \\ &= 10.809 \times \cos(23.333 - 16.699) \end{aligned}$$

5 計算表

計算区分	数式	荷重 kN	アームの計算式	アーム m	モーメント kN・m
D ₁	$n \times (h-h_1)^2 \times 1/2 \times \omega$	34.560	$B_2 + 2/3 \times n \times (h-h_1)$	0.790	27.302
	$0.3 \times 3.2 \times 3.2 \times 1/2 \times 22.5$		$0.15 + 2/3 \times 0.3 \times 3.20$		
D ₂	$b \times (h-h_1) \times \omega$	26.640	$B_2 + n \times (h-h_1) + 1/2 \times b$	1.295	34.499
	$0.37 \times (3.5 - 0.3) \times 22.5$		$0.15 + 0.3 \times 3.20 + 1/2 \times 0.37$		
D ₃	ω	-34.560	$B_2 + n \times (h-h_1) + b + 1/3 \times m \times (h-h_1)$	1.160	-40.090
	$-0.30 \times 3.2 \times 3.2 \times 1/2 \times 22.5$		$0.15 + 0.3 \times 3.20 + 0.37 + 1/3 \times (-0.30) \times 3.20$		
D ₄	$[(n+m) \times (h-h_1) + b] \times (h_1-h_2) \times 1/2 \times \omega$	0.416	$B_2 + 2/3 \times [(n+m) \times (h-h_1) + b]$	0.397	0.165
	$(0.00 \times 3.2 + 0.37) \times 0.1 \times 1/2 \times 22.5$		$0.15 + 2/3 \times [0.00 \times 3.20 + 0.37]$		
D ₅	$(B-B_2) \times (h_1-h_2) \times 1/2 \times \omega$	0.383	$B_2 + 1/3 \times (B-B_2)$	0.263	0.101
	$0.340 \times 0.1 \times 1/2 \times 22.5$		$0.15 + 1/3 \times 0.340$		
D ₆	$B_2 \times h_1 \times \omega$	1.013	$1/2 \times B_2$	0.075	0.076
	$0.15 \times 0.3 \times 22.5$		$1/2 \times 0.15$		
D ₇	$(B-B_2) \times h_2 \times \omega$	1.530	$B_2 + 1/2 \times (B-B_2)$	0.320	0.490
	$0.340 \times 0.2 \times 22.5$		$0.15 + 1/2 \times 0.340$		
E _V	$E \times \sin(\delta + \alpha)$	1.249	$B - (h/3 - h_2) \times m$	0.780	0.974
	$10.809 \times \sin(23.333 - 16.699)$		$0.490 - 0.967 \times (-0.30)$		
計	鉛直分力 (Σ_V)	31.231	抵抗モーメント (M_V)		23.517
E _H	$E \times \cos(\delta + \alpha)$	10.737	$1/3 \times h$	1.167	12.530
	$10.809 \times \cos(23.333 - 16.699)$		$1/3 \times 3.50$		
計	水平分力 (Σ_H)	10.737	転倒モーメント (M_H)		12.530

6 壁底厚及び断面積

$$\begin{aligned}
 \text{壁底厚 (B)} &= B_2 + (h - h_1) \times n + b + (h - h_2) \times m = && 0.490 \text{ m} \\
 B_1 &= (h - h_2) \times (n + m) + b - 0.37 = && 0.000 \text{ m} \\
 \text{基礎コン断面積 (A}_1\text{)} &= B \times h_2 + (B_2 + B - B_1) \times (h_1 - h_2) \times 1/2 = && 0.13 \text{ m}^2 \\
 \text{裏コン断面積 (A}_2\text{)} &= (h - h_2) \times B_1 \times 1/2 = && 0.00 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

7 合力の作用位置及び偏心距離

$$\begin{aligned}
 \text{合力の作用位置 (d)} &= (M_V - M_H) / \Sigma_V = (23.517 - 12.530) / 31.231 = && 0.352 \text{ m} \\
 \text{偏心距離 (e)} &= B / 2 - d = -0.107 \text{ m}
 \end{aligned}$$

8 地盤反力

$d = 0.352 > 0.327 = 2/3 \times 0.490$ なので地盤反力係数法による簡便法を用いる。

$$L = 3.5 / \cos 16.70 = 3.654 \text{ m}$$

$$\begin{aligned} P_E &= \frac{3 \times (\Sigma M_V - \Sigma M_H) - 2 \times B \times \Sigma V}{2 \times L + B \times \cos(90 + \alpha)} \\ &= \frac{3 \times (23.517 - 12.530) - 2 \times 0.490 \times 31.231}{2 \times 3.654 + 0.490 \times \cos(90 - 16.699)} \\ &= 0.316 \text{ kN} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} Q_V &= \Sigma V - P_E \times \cos(90 + \alpha) \\ &= 31.231 - 0.316 \times \cos(90 + 16.699) \\ &= 31.140 \text{ kN} \end{aligned}$$

地盤反力 $P_1 = 0.000 \text{ kN/m}^2$

$$\begin{aligned} P_2 &= 2 \times Q_V / B \\ &= 2 \times 31.140 / 0.490 \\ &= 127.103 \text{ kN/m}^2 \end{aligned}$$

9 転倒, 滑動の安全率

転倒安全率	$M_V / M_H =$	$= 23.517 / 12.530 =$	1.876
滑動安全率	$f \times \Sigma V / \Sigma H =$	$= 0.6 \times 31.231 / 10.737 =$	1.745

10 安定の検討

転倒に対する安定	$Ta(1.5) \leq 1.876$	安定
滑動に対する安定	$Fa(1.5) \leq 1.745$	安定
地耐力に対する安定	$Qa = 400 \text{ kN/m}^2 > P_{\max} = 127.103 \text{ kN/m}^2$	安定
内部応力に対する安定	内部応力に対してコンクリートの許容応力度はかなり大きいので安定	